

番号	1-1-1	表題	横坑掘進用エントランスの考案 ～大深度施工時の掘進マシン及びトンネルの止水保持～		
内容	<p>シールド工法の発進・到達時の止水対策は、坑口に仮設のゴムパッキンとフラップを設置し、立坑背面を地盤改良することで止水性を確保し、掘進後は支障となるため、仮設は通常撤去されるのが一般的である。</p> <p>今回計画された芝浦水再生センター・森ヶ崎水再生センター間連絡管工事は、最大土被りが概ね 58m の大深度、高水圧下での工事となり地盤改良が困難であった。このため、通常の止水対策に代えて、工事費の削減と工事期間の短縮を図れる、恒久的な止水装置「横坑掘進用エントランス」を考案した。</p>				
キーワード	坑口、超大深度、止水、連絡管				
処理区名	芝浦処理区、森ヶ崎処理区	位置区分	処理場 水再生センター		
職種区分	土木	施策区分	再構築		
状態区分	設計	新規性	新規知見あり		
実施年度	平成 25 年度	全体期間			
担当部署	建設部 土木設計課				
発表履歴	局内	平成 26 年度 下水道局公開研修「下水道新技術」			
	局外	もんけん（東京都建設技術協会）69 号，平成 27 年 6 月			
調査方法					
関連情報					